

# 浜松市立湖東中学校 令和8年度第1回学校運営協議会

令和8年5月15日(金) 開催 13:30～

司会 星宮

1. 会長あいさつ
2. 校長あいさつ
3. 新規委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付
4. 自己紹介
5. 浜松市学校運営協議会規則確認
6. 会長の選出
7. 副会長の指名
8. 議長の選出
9. 前回会議録の確認
10. 熟議
  - ① 令和8年度 学校運営の基本方針について(校長より)
  - ② 学校いじめ防止基本方針について(生徒指導より)
  - ③ 令和8年度 学校運営協議会の自己目標
  - ④ 夢育やらまいか事業に対する意見書について(教頭より)
11. 連絡・報告

次回開催日時等について

第2回 9/3(木) 開催予定 13:30～15:00

第3回 11/5(木) 開催予定 13:30～15:00

第4回 2/8(月) 開催予定 13:30～15:00

令和8年度 湖東中学校学校運営協議会委員（五十音順）

- 1 会長：野嶋 清嗣（のじま きよつぐ）
- 2 委員：池谷 荘一（いけや そういち）
- 3 委員：宇津山 哲夫（うづやま てつお）
- 4 委員：岡田 竜樹（おかだ りょうじゅ）
- 5 委員：桔川 増雄（きっかわ ますお）
- 6 委員：柴田 美恵子（しばた みえこ）
- 7 委員：中村 朋子（なかむら ともこ）
- 8 委員：中村 規子（なかむら のりこ）
- 9 委員：成瀬 記言（なるせ のりこと）
- 10 委員：山本 あすか（やまもと あすか）

学校支援コーディネーター

島野 知厚（しまの ともあつ）  
村上 久美子（むらかみ くみこ）

学校職員

校長 榊原 晋  
教頭 星宮 ちさと  
生徒指導 宮崎 裕太  
CS担当 杉山 智章  
CSディレクター 伊藤 康恵

熟議グループ

Aグループ	Bグループ
池谷 荘一	桔川 増雄
宇津山 哲夫	柴田 美恵子
岡田 竜樹	中村 規子
山本 あすか	成瀬 記言

**Memo**

湖東中学校区の目指す生徒像  
意欲をもって学び続ける子

校訓

努めてやまず

第4次浜松市教育総合計画  
基本理念  
描く夢や未来の実現

学校教育目標

意欲をもって挑戦し自己表現できる生徒

学校経営目標

「湖東中は未来の私たちの出発点」を合言葉に、生徒一人一人の居場所と出番づくりを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力（基礎的・汎用的能力）をチーム湖東で育成し、

みんなで幸せになる。

生きる力を育てる4つの力（キャリア教育の視点）

かかわる力

人間関係形成・社会形成能力

- 1 中学生としての自覚ある生活
- 2 生徒会活動の活性化
- 3 地域への情報開示、施設開放

みつめる力

自己理解・自己管理能力（重点）

- 1 学習の基本事項を意識した授業への取組み
- 2 自分の言葉で意思を伝える力の育成
- 3 心身共に健康な生徒の育成

挑戦する力

課題対応能力

- 1 他者との「対話力」を高める学習活動
- 2 成就感を得られる授業展開
- 3 活躍の場を推奨した行事の実施

みとおす力

キャリアプランニング能力

- 1 夢をもち、生き方を考える学びの推進
- 2 道徳科の授業の充実
- 3 人とふれあい、生き方を考える総合的な学習の時間の推進

生徒を育てるための活動・指導の方向性

かかわる

- ・いじめを許さない雰囲気づくり
- ・安心・安全な環境づくり（定期的な生活アンケートの実施）
- ・場に応じた身なり、言葉遣い、あいさつや返事の指導
- ・生徒が主役の学校行事の運営

みつめる

- ・自分の言葉による思いや考えの伝達
- ・効果的な支援員、校内適応指導教室等の活用
- ・校内委員会（定期）、ケース会議等（随時）の開催
- ・個々に合わせた十分で細やかな対応
- ・生徒理解に関する職員研修の実施
- ・健康診断結果を生かした心身の自己管理の向上

挑戦する

- ・課題に対する最適解を考え、分かりやすく伝え合う能力の育成
- ・ICT機器の活用による「主体的・対話的で深い学び」の場の設定
- ・各教科領域で外部人材の活用
- ・校外体験学習での「ひと・もの・こと」に関わる学び
- ・企画力・運営力・団結力を学ぶ学校行事や生徒会活動の運営

みとおす

- ・外部講師による生き方講話等の実施
- ・「はままつづくり未来プラン」を基にした社会性の育成
- ・自分と異なる存在や考えの理解を深める「道徳科」
- ・地域や社会との自らの関わりを考える「総合的な学習の時間」
- ・自己課題の設定をし、考えを自らの言葉で発表するまでの支援

生徒の健全育成や教育活動を支える基盤

保護者・家庭との連携

校内ボランティア活動の推進  
保護者アンケートによる教育活動の評価  
各種たより、ブログによる学校の様子発信  
三者面談（7月、12月、3月）による連携推進  
随時の教育相談の充実

地域とともにある学校  
**湖東中学校運営協議会**  
の運営（湖東中CS）

地域との連携・協力

健全育成会（自治会）活動の協力  
湖東スポーツ・文化クラブとの連携  
和地地区、伊佐見地区コミュニティ協議会との協力  
校区内幼・小・高との交流、連携

いじめ防止対策の徹底

本校のいじめ対策基本方針に基づき、「保護者」「地域」「学校」で生徒の見守り

○本校のキャリア教育推進の取り組み（基礎的・汎用的能力の育成）

①<つながる力> 人間関係形成・社会形成能力

- ・誇りある湖東中生徒としての自覚を促す
- ・生徒会活動で学校を元気にする
- ・地域に学校を開く

②<みつめる力> 自己理解・自己管理能力

・自分の考えを大切にさせ、自分の言葉で伝える機会を設定する

- ・学習の基本事項を意識した授業づくりに取り組む
- ・「生徒理解」を基盤とし、一人一人に合った支援を行う

③<挑戦する力> 課題対応能力

- ・「他者との対話力」を高める学習活動を進める
- ・成就感を得られる授業を目指す
- ・生徒の活躍の場を推奨した行事を実施する

④<みとおす力> キャリアプランニング能力

- ・夢をもち、生き方を考える学びを推進する。
- ・道徳科の授業を大切にする
- ・「人とふれあい、生き方を考える」総合的な学習の時間を推進していく

#### 4 願い

学校教育活動の中で最も大切にしていだきたいことは「楽しむ心」である。上記の内容をすべてやりきることは大変難しいことは承知の上である。私たち学校教職員にとって、生徒や保護者、地域との関わりは仕事である。仕事と考えるとやや構えてしまうが、「楽しむ」を基本に教職員が関わっていくことで、自然と笑顔が増えると考えている。「面倒だ」「なんで俺が、私が」と考えながら仕事をしていると、それは生徒にも連鎖する。過去にそんな経験をした先生方もいるのではないだろうか。

令和8年度は、授業や学校行事の中で「生徒が自分で考えた言葉で語る」ことができれば躍進の第一歩と考えている。楽しみながら生徒を育てたい。